

NCGM国際医療協力局の須藤恭子看護師らが 第43回日本看護科学学会学術集会で 「優秀演題口頭発表」賞を受賞しました。



12月9～10日に開催された第43回日本看護科学学会において、須藤看護師らの研究「The relationships between intention to leave and job satisfaction in Vietnamese nurses」が、優秀賞を受賞しました。今回の研究では、ベトナムの病院で働く看護師の離職意思と職務満足度に焦点を当て、その関連性を明らかにすることを目的としました。研究の結果、海外での勤務が看護師にとって挑戦であるとの認識が、離職意思と関連していることがわかりました。特に高いモチベーションを持つ看護師の海外就労の可能性が示唆されました。高齢化の進展に伴い、ベトナム人看護師の日本での雇用機会が増加している一方で、日本側の受け入れ体制整備が課題となると考えます。日本の保健医療人材確保がアジア諸国の看護人材に及ぼす影響を考慮する等、新たな取り組みが期待されます。